



綿貫市議が質問

補足質疑を行う綿貫市議、左は高島市長（3月8日）

貧困
対策

家賃補助、市営住宅の新築を

福岡市の予算議会で、日本共産党の綿貫英彦市議が補足質疑を行い、福岡市の住宅政策について取り上げました。

高い住居費で生活保護以下に…

住宅政策について綿貫市議は、月収が18万円の母子家庭で、子どもが中学生になり部屋が必要になったため家賃が月6万5000円のアパートに引っ越した

福岡市の予算議会で、日本共産党の綿貫英彦市議が補足質疑を行い、福岡市の住宅政策について取り上げました。

ケースを紹介。生活費部分が生活保護の最低生計費以下になってしまい、PTA会合後の懇親会を断ったり、服や食費を切り詰めている実態を明らかにしました。

ひとり暮らしできない非正規

また、綿貫市議は、正規の保育士から聞き取りを行い、家賃を払えば生活ができないために、ある園では単身者全員が実家暮らし

をしている事例を取り上げました。

綿貫市議は、高島市政の住宅政策には憲法25条がうたう生存権を保障する視点がないことを批判。「貧困対策や若者の自立支援として、家賃補助を」「市営住宅の新築を」と市に迫りました。

市長は、家賃補助について「国や他都市の動向を踏まえ総合的に検討する」と答えるにとどまり、市営住宅の新築は拒否しました。

住民の運動に光



東区貝塚にある「タラソ福岡」
(九州リースサービスのホームページより)

タラソ
福岡引継

2018年度の新施設開業めざし 業者ハム募の意向答弁

共産党の
質問に

臨海工場の余熱利用公共施設「タラソ福岡」（東区）の健康増進ゾーンについて、市は契約終了を理由に今年3月末をもって閉館する方針を打ち出しています。

利用者からは1500筆以上もの存続の請願が出され、3月議会（条例予算特別委員会第5分科会）で審議されました。

綿貫市議が昨年存続求め質問

存続を求める日本共産党の質問に対し、市は「複数の事業者

から問い合わせがきている」と答弁。いったん閉鎖した上で、翌17年度に事業者を公募し、18年度から新施設での開業をめざす形で、検討を行う意向を明らかにしました。

「タラソ福岡」の健康増進施設については、綿貫英彦市議が利用者の相談を受け、昨年9月に存続を求めて質問していました。また、他会派の議員からも存続を求める意見が出されています。

希望が見えてきました!

タラソ福岡は、近辺に類似施設がないほど素晴らしい施設です。存続を願って署名を短期間で1500名以上集めました。綿貫議員をはじめ、様々な会派の紹介議員の方々の的確な鋭い質問から、タラソ福岡の未来が見えてきました。他の施設に移る人達とも、これからもタラソ福岡復活に頑張ろうと話しています。笑顔で!

伊藤美智子さん
(タラソ福岡利用者)



わたぬき
綿貫英彦
市議会議員

日本共産党

東区民報 2017年春季号 議会報告

綿貫英彦市議の活動を紹介します。市政へのご意見・ご要望をおよせください。(日本共産党東博多地区委員会 ☎631-0037)

発行：日本共産党福岡市議団
www.jcp-fukuoka.jp
電話 711-4734 FAX741-4627
ツイッターやっています
アカウント:watanukihide

無料 生活・法律
そうだん

東区オフィス舞松原 2-17-30
毎月第3水曜日 19~21時

和白・奈多
美和台 3-7-16 三苦メゾンハイツ 101
毎月第3木曜日 19~21時

弁護士と綿貫英彦市議が相談を受け付けます。サラ金・相続・離婚・生活保護・地域問題など何でもお気軽にどうぞ。

赤旗を読みませんか?
日刊/月3497円 日曜版/月823円
電話 631-0037へご連絡ください



綿貫市議が質問

補足質疑を行う綿貫市議、左は高島市長（3月8日）

貧困
対策

家賃補助、市営住宅の新築を

福岡市の予算議会で、日本共産党の綿貫英彦市議が補足質疑を行い、福岡市の住宅政策について取り上げました。

高い住居費で生活保護以下に…

住宅政策について綿貫市議は、月収が18万円の母子家庭で、子どもが中学生になり部屋が必要になったため家賃が月6万5000円のアパートに引っ越した

ひとり暮らしできない非正規

また、綿貫市議は、正規の保育士から聞き取りを行い、家賃を払えば生活ができないために、ある園では単身者全員が実家暮らし

住民の運動に光



東区貝塚にある「タラソ福岡」
(九州リースサービスのホームページより)

タラソ
福岡引継

臨海工場の余熱利用公共施設「タラソ福岡」（東区）の健康増進ゾーンについて、市は契約終了を理由に今年3月末をもって閉館する方針を打ち出しています。利用者からは1500筆以上もの存続の請願が出され、3月議会（条例予算特別委員会第5分科会）で審議されました。

綿貫市議が昨年
存続求め質問

「タラソ福岡」の健康増進ゾーンについては、綿貫英彦市議が利用者の相談を受け、昨年9月に存続を求めて質問していました。また、他会派の議員からも存続を求める意見が出されています。

希望が見えて
きました!

タラソ福岡は、近辺に類似施設がないほど素晴らしい施設です。存続を願って署名を短期間で1500名以上集めました。綿貫議員をはじめ、様々な会派の紹介議員の方々の的確な鋭い質問から、タラソ福岡の未来が見えてきました。他の施設に移る人達とも、これからもタラソ福岡復活に頑張ろうと話しています。笑顔で!

伊藤美智子さん
(タラソ福岡利用者)

2018年度の新施設開業めざし 業者ハム募の意向答弁

共産党の
質問に



わたぬき
綿貫英彦
市議会議員

日本共産党

東区民報
2017年春季号
議会報告

綿貫英彦市議の活動を紹介します。市政へのご意見・ご要望をおよせください。(日本共産党東博多地区委員会 ☎631-0037)

発行：日本共産党福岡市議団
www.jcp-fukuoka.jp
電話 711-4734 FAX741-4627
ツイッターやっています
アカウント:watanukihide

無料 生活・法律
そうだん

東区オフィス舞松原 2-17-30
毎月第3水曜日 19~21時

和白・奈多
美和台 3-7-16 三苦メゾンハイツ 101
毎月第3木曜日 19~21時

弁護士と綿貫英彦市議が相談を受け付けます。サラ金・相続・離婚・生活保護・地域問題など何でもお気軽にどうぞ。

赤旗を読みませんか?
日刊/月3497円 日曜版/月823円
電話 631-0037へご連絡ください